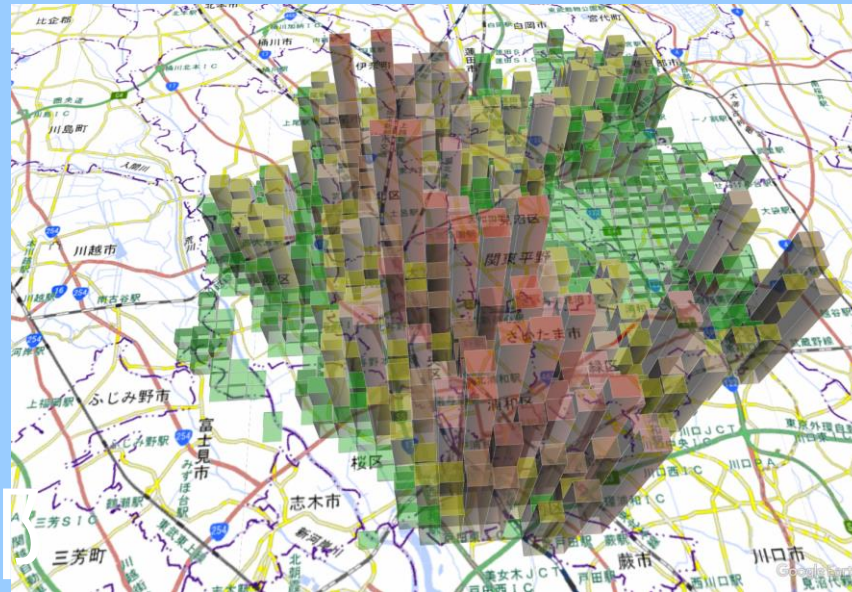


新しい施設配置の検討手法

～データを分析して適地を探せ～

さいたま市
都市局
都市計画部
都市計画課

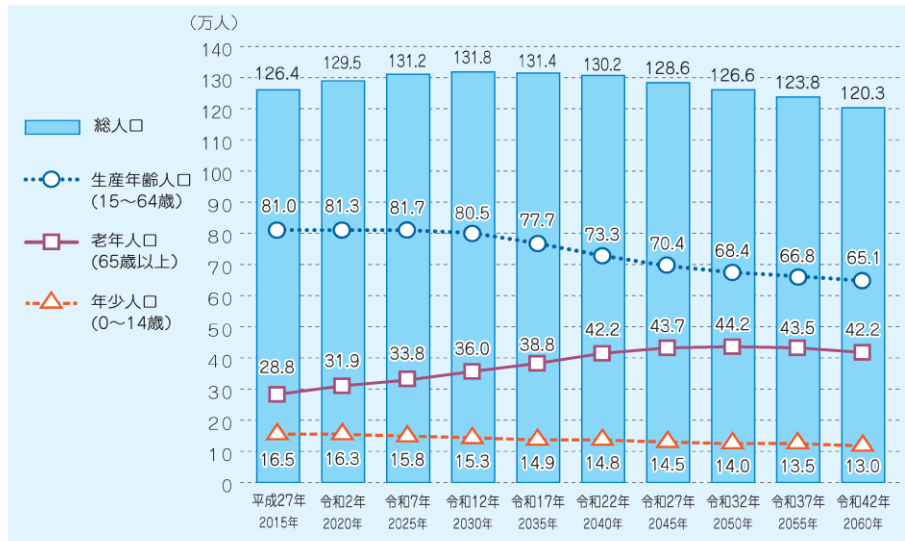


補注：地理院地図を使用

1.さいたま市の都市構造

東京都市圏の政令指定都市の1つ
特に鉄道を基幹軸とした都市構造が特徴的

■ 総人口・年齢3区分別人口の推計



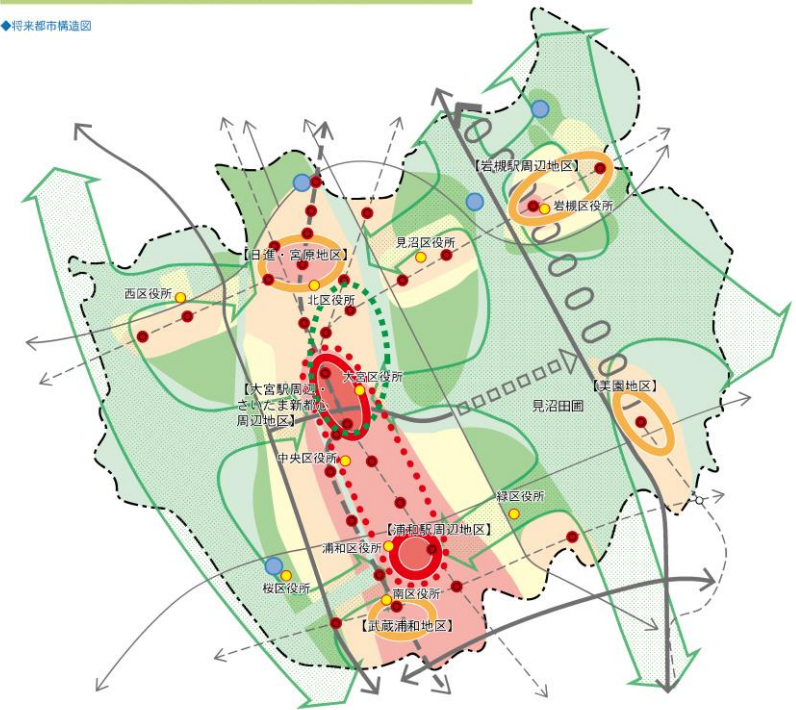
出典：さいたま市総合振興計画 基本計画 2021-2030

全国1位の人口増加数及び転入超過数
(令和3年度)

2 将来都市構造

水とみどりに囲まれた集約・ネットワーク型都市構造

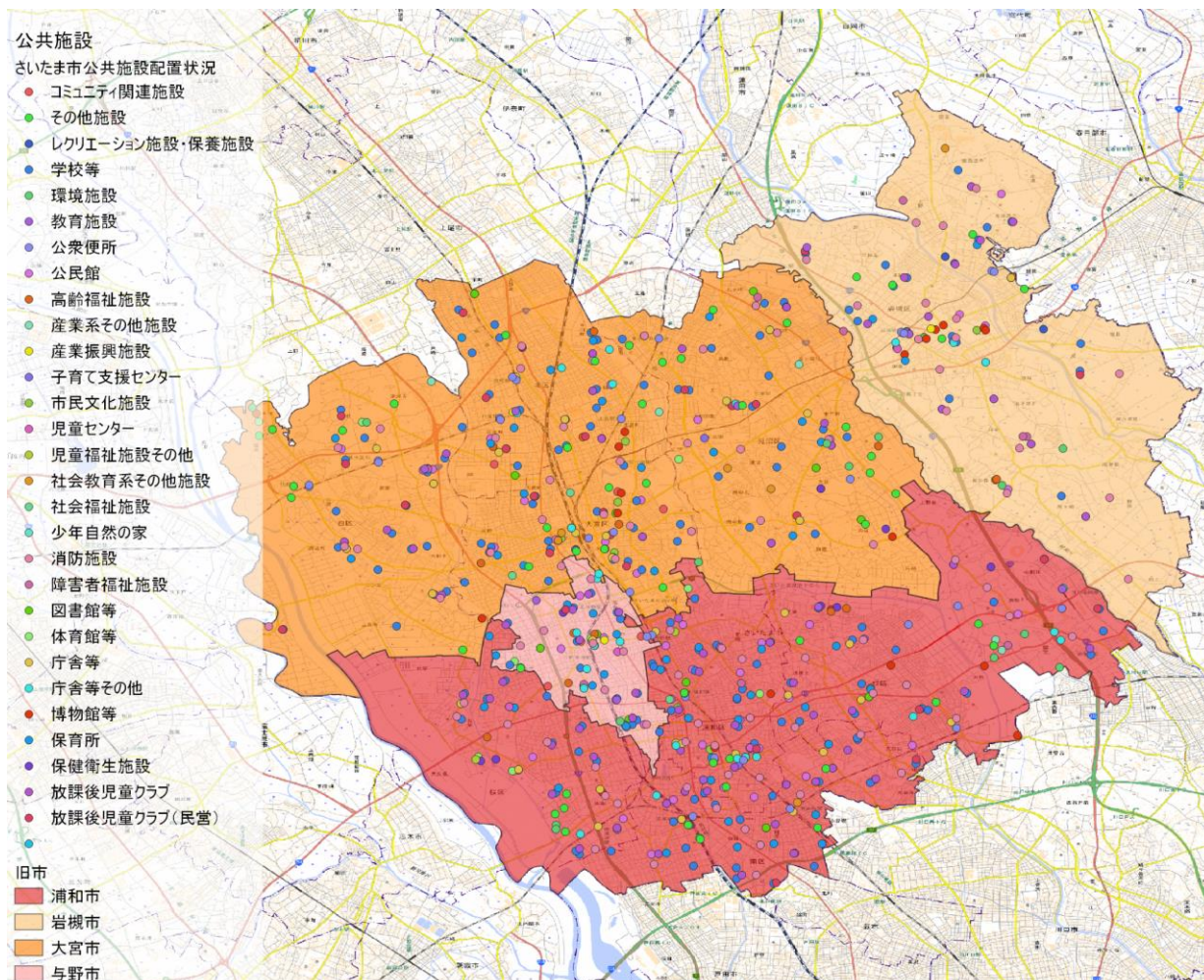
◆ 将来都市構造図



出典：さいたま市都市計画マスタープラン

2. 合併による施設配置の課題

浦和市、大宮市、与野市、岩槻市の4市が合併して誕生した



補注：地理院地図を使用

旧市毎に施設整備をしたため、同じ用途の施設が市内に複数所在している。

施設配置が現在のさいたま市全体で考えたときにバランス良く配置されていると言えるか難しい。

総施設数 864

(公共施設の位置情報(緯度経度)一覧より)

3. 今までの検討の基礎資料

職員が分析を行うとき、区単位の人口や施設数で検討していた

「区単位」での人口

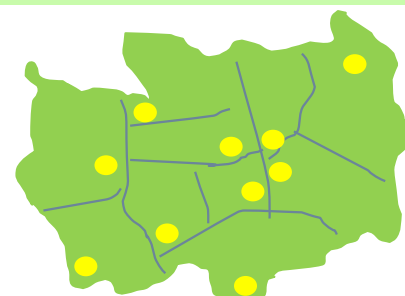
区名	人口(人)
〇〇区	〇〇〇〇〇〇人
△△区	△△△△△△人
××区	××××××人
...	

「区単位」でのニーズ

健康を維持したい

子育てしやすい

「区単位」での施設数



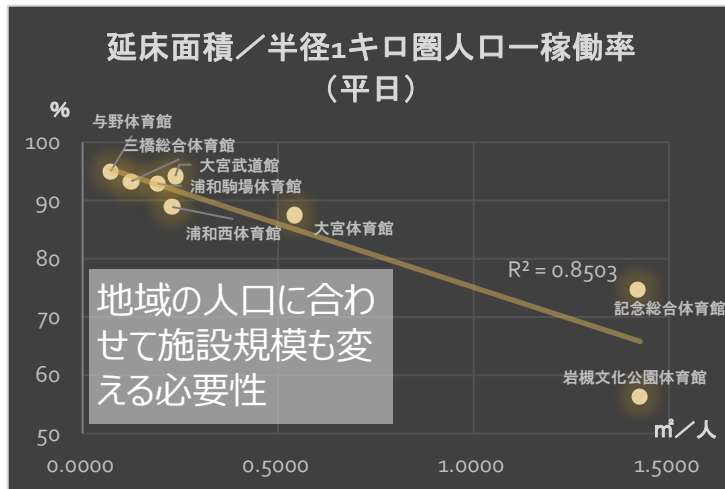
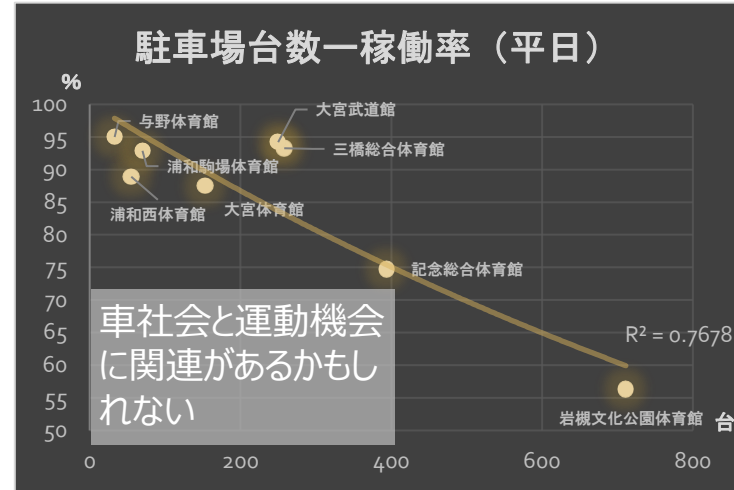
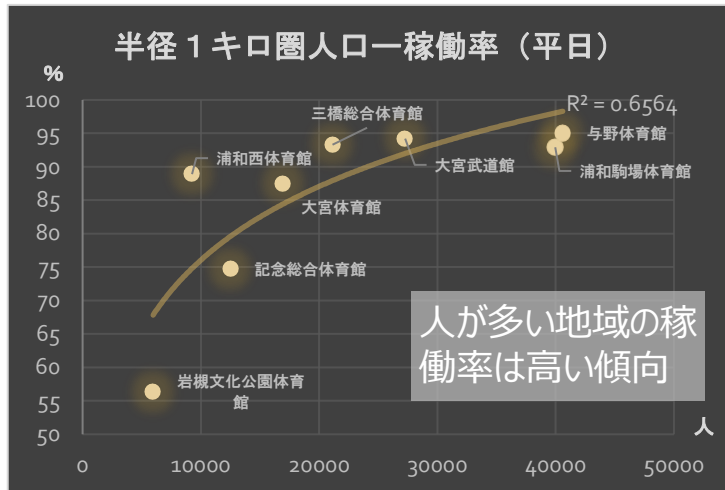
施設を利用しやすい人の数は？



区に施設はあるけど、配置場所がニーズとあっている？

4. 実際の施設の稼働率とGISで集計した人口を分析

スポーツ施設の整備方針の稼働率と実際の都市の状況を分析



「施設から半径1キロ圏の人口」や「駐車場台数」、「延床面積／施設から半径1キロ圏の人口」について平日の施設稼働率と相関関係がありそうな結果が得られた。

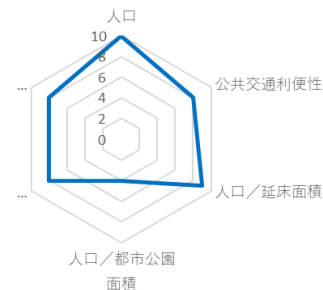
上記のほか、駅やバス停等の公共交通機関の利便性についても今後分析をすることも考えられる。

5.施設の稼働率を高めるために望ましい配置

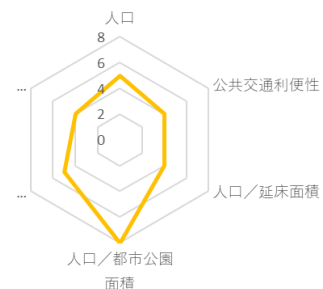
相関の高い指標を分析から得て、候補地の優位性を表現可能

候補地のメリット、
デメリットを比較し
ても総合的に判断す
るのが難しかった

候補地 A



候補地 B



レーダーチャートなどで表現ができるようになれば、一目で比較しやすい。
また、将来人口推計によりの将来の稼働率が推計できれば、将来を見通して比較できる。

6.施設所管課へ説明

分析から得られたデータについては施設所管課へ共有した

新設する体育館の適地を検討する際に、既存の体育館の現状分析・評価は重要である。

数値を根拠に相関関係をグラフ等で可視化することで傾向を掴むことができた。

E B P Mは今後の施設マネジメントにおいても有用だと感じた。



スポーツ施設所管課 Kさん



スポーツ施設所管課 Iさん

評価指標となる数値等については、ライフスタイルの変化や高齢化率等にも影響を受ける可能性があるため、各施設の稼働率等の数値を蓄積し、推移を把握していく必要性を感じた。

さいたま市のご紹介



「住みやすい」と
思う人の割合
87.2%

全国市区・SDGs
先進度調査
第1位

(日本経済新聞社)

幸福度
ランキング
第3位

(政令指定都市中)

さいたま市は、交通や居住・
生活環境の利便性と自然が
両立し、これまでのまちづ
くりで育まれた先進的な取
組や地域資源などの優れた
強みを持つ、魅力あふれる
都市です。

住
め
続
け
たい。
住
め
や
す
い。



出典：さいたま市に住もう